

第 40 期第 11 回理事会議事録

日時：2019 年 7 月 1 日（月） 13 時 30 分～16 時 15 分

会場：気象庁（東京都千代田区）内日本気象学会事務室

出席理事： 岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳暁典，氏家将志，新保明彦，平松信昭， 以上 6 名
Web 会議システムを通じた出席理事：榎本 剛，小池 真，佐藤 薫，塩谷雅人，竹見哲也，坪木和久，仲江川敏之，中村 尚，堀之内 武，余田成男，渡部雅浩 以上，11 名
（理事数現在 20 名）

出席監事： 高谷康太郎，以上 1 名

その他の出席者： 勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）， 以上 3 名

議 題

1. 協議事項

1)第 40 期第 10 回理事会議事録の確認

議事録案について，軽微な修正の後，全会一致で承認した．

2)2019 年度総会議事録の確認

議事録案について，軽微な修正の後，全会一致で承認した．今後，総会議長，出席者代表による確認及び捺印を行う．

3) 会員の新規加入等について

新入会 22，退会 17 を全会一致で承認した．2019 年 6 月 24 日現在，会員数 3,421 名で個人会員は 3,194 名．

4) 理事会運営要領の一部改正について

理事会運営要領では，Web 会議システムによる理事会開催を「電磁的方法」としているが，これを他の法令でも使用されている「テレビ会議システム」と改正することについて，全会一致で承認した．

5) 支部長会議運営要領の一部改正について

支部長会議の開催頻度を「年 2 回以上」から，「年 1 回以上」とする改正について，全会一致で承認した．

6) 大会担当機関について

2019 年度秋季大会から，2020 年度の春季大会までの大会担当機関について，全会一致で承認した

2. 報告事項

1)業務執行理事の報告

庶務・・・以下の内容が報告された．

・ 転載許可

なし．

・後援名義等使用依頼受付

①名称：第 33 回数値流体力学シンポジウム

主催：日本流体力学会

期日：2019 年 11 月 27 日～29 日

場所：北海道大学工学部

名義：協賛

②名称：第 32 回計算力学講演会(CMD2019)

主催：日本機械学会

期日：2019 年 9 月 16 日～18 日

場所：東洋大学川越キャンパス

名義：協賛

③名称：公開シンポジウム「Future Earth 時代における地球表層システム科学と防災・減災研究」

主催：日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会、フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会

期日：2019 年 8 月 7 日

場所：日本学術会議講堂

名義：後援

④名称：第 17 回高校生科学技術チャレンジ (JSEC2019)

主催：朝日新聞社，テレビ朝日

期日：2019 年 12 月 15 日（表彰式）

場所：日本科学未来館

名義：後援

⑤名称：第 6 回国際北極シンポジウム(ISAR-6)

主催：北極環境研究コンソーシアム(JCAR)

期日：2020 年 3 月 2 日～6 日

場所：一橋大学一橋講堂

名義：後援

・寄附者リスト（2019.5.13～2019.6.28）

山崎 哲会員.

・会員管理ソフトの Windows 7 PC から Windows 10 PC への移設にあたる，経費の利用に関する報告.

会計・・・以下の内容が報告された.

・2019 年 5 月分の収支及び現預金検査報告.

・2019 年度春季大会決算報告.

2)委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

- ・2019 年度春季大会の実施報告。
- ・2019 年度春季大会アンケートの集計報告と分析。
 - ・講演時間の長さについては、満足度が高かった。一方で、早く終了したセッションがあったためか、大会期間が長いとする意見もあり、講演枠の効率化等の改善案が自由意見の中で述べられた。
 - ・予稿集の完全電子化に関連する意見や改善に関する提案が多数寄せられた。
 - ・春季大会と日本地球惑星科学連合大会との統合を求める意見が多く挙げた一方、独立性を維持してほしいという意見もあった。
- ・2020 年度春季大会（5 月 19 日（火）～22 日（金）、カルッツかわさき（神奈川県川崎市））のジュニアセッションについて、大会期間を延長させる形で、5 月 23 日（土）に気象庁で開催できないか調整中。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

- ・Vol.66 No.6, 7, 8 (2019 年 6, 7, 8 月)の掲載記事の報告。
- ・天気の twitter アカウントを取得した。
- ・天気に掲載された論文の doi の PDF への埋め込みについて検討を行ったが、技術的に困難であることが判明し、断念した。

気象集誌編集・・・以下の内容が書面報告された。

- ・気象集誌の和文のタイトル・要旨の作成について、国際化への対応および編集委員の負担緩和を目的に以下の通りとすることを提案し、理事会で全会一致で承認した。論文タイトル・要旨の天気掲載時の扱いについては、天気編集委員会と調整する。
 - (i)日本語を母国語とする者が共著者に含まれる場合は、提出を要請する。提出は論文受理後とし、チェックを担当編集委員と編集委員長が行う。
 - (ii)日本語を母国語とする者が共著者に含まれない場合は、提出を要請せず、編集委員側で和文タイトルのみを作成する。
- ・論文査読状況。
- ・2018 年のインパクトファクターの報告。3.318 であった。
- ・掲載料免除申請 3 件。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文の投稿状況。
- ・2018 年の SOLA のインパクトファクターの報告。1.078 であった。

気象研究ノート・・・以下の内容が報告された。

- ・2013 年以前に刊行された気象研究ノートについて、在庫処分のため半額で販売することを提案し、理事会で全会一致で承認した。詳細は 2019 年 9 月 1 日に気象学会ホームページで公開し、販売は 2019 年 10 月 1 日から開始する。ただし、8 月 3, 4 日の夏季大学において先行的に半額での販売を行う。

堀内賞候補者推薦・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年堀内賞候補者1名を理事会に報告した。今後、理事会の投票により、受賞者を決定する。

正野賞候補者推薦・・・以下の内容が書面で報告された。

- ・2019年正野賞候補者2名を理事会に報告した。今後、理事会の投票により、受賞者を決定する。

山本賞候補者推薦・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年山本賞候補者2名を理事会に報告した。今後、理事会の投票により、受賞者を決定する。

小倉奨励賞候補者推薦・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年小倉奨励賞候補者3名を理事会に報告した。今後、理事会の投票により、受賞者を決定する。

松野賞候補者推薦・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年度春季大会の松野賞推薦者5名を報告した。5名全員の受賞が理事会で承認された。

学術・・・以下の内容が報告された。

- ・第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン(マスタープラン 2020)「学術大型研究計画」の審査が進んでいる。気象学会から提案している「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」は、日本地球惑星科学連合 2019年大会で行われた公開ヒアリングでの評価は良好であった。今後は理工融合分野での審査が行われる予定。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

- ・内閣府等が主催する「ぼうさいこくたい 2019」が10月19、20日に名古屋市で開催される予定。防災学術連携体として、「あなたが知りたい防災科学の最前線 ～激化する気象災害に備える～」の題目で一般向け講演を申請した。坪木理事から台風関連の最新の話題について提供する予定。

気象研究コンソーシアム・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年度春季大会期間中に気象研究コンソーシアム運営委員会を開催し、気象庁との意見交換や新規申請者の承認を行った。
- ・データ利用部会において、気象庁データ利用制限緩和に向けた気象庁との調整や、アーカイブの方法についての検討を進めている。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

- ・気象サイエンスカフェの今後の予定。
- ・2019年度春季大会ジュニアセッション及び公開気象講演会の実施報告。
- ・夏季大学の準備状況の報告。6月20日に募集を開始した。
- ・8月10日の女子中高生夏の学校に男女共同参画委員会と合同で参加予定。2018年度同様、地球温暖化予測に関するポスター展示を予定している。

電子情報・・・以下の内容が報告された。

- ・会員サイトの運用を開始し、会員メーリングリスト等を通じて周知した。

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・2019年度秋季大会にて「女性会員の集い」と「WLB（ワークライフバランス）を考える会」の共同開催を計画している。昼食または飲み物提供のための補助の申請について、理事会にて全会一致で承認した。
- ・Webサイトのメンテナンスを担当する学生アルバイト2名のうち1名が卒業に伴い欠員となったため、1名追加雇用する。追加雇用について、理事会にて全会一致で承認した。

2019年9月19日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 高谷康太郎